

大学・高専機能強化支援事業
(学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援)【支援1】
事業概要

令和5年7月時点

1. 基本情報

選定年度	令和5年度	学校コード	F134310109857
大学名	広島工業大学	設置区分	私立
学校種	大学	都道府県	広島県
大学全体の総収容定員数	4,320 名	※令和5年5月1日時点	
学部学科 組織構成	工学部（電子情報工学科、電気システム工学科、機械システム工学科、知能機械工学科、環境土木工学科、建築工学科）、情報学部（情報工学科、情報コミュニケーション学科）、環境学部（建築デザイン学科、地球環境学科）、生命学部（生体医工学科、食品生命科学科）		

2. 事業概要

電子デバイスや回路などの電子技術とその医用生体計測分野への応用に関する技術を持った人材を養成する「電子情報システム工学科」、従来の電力システムに加えグリーンエネルギーを支える人材を養成する「電気エネルギーシステム工学科」、Society5.0を支えるロボットやモビリティシステム、新素材に関する人材を養成する「機械情報工学科」を工学部に設置する。 また、現代社会の情報インフラである情報システムを支える人材を養成する「情報システム学科」、データサイエンスを学び、それらを社会へ応用する人材を養成する「情報マネジメント学科」を情報学部を設置する。 さらに、地球及び宇宙から得られる情報を利活用し、地球環境を維持する人材を養成する「地球環境システム学科」、食や健康に関する諸課題の解決に取り組む人材を養成する「食健康科学科」を環境学部を設置する。 これら7学科は令和7年度に開設予定で、既存の学科と併せ、大学全体で3学部11学科、入学定員1,100名、収容定員4,400名の体制で社会が求める技術者の養成を行い、未来を創造する理工系人材を輩出する。

3. 本事業で新たに設置等を行う組織

改組予定年度	令和7年度
認可申請・届出予定	令和6年度
※既に申請・届出している場合はその年度を記入	
改組内容	既存学部における学科の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）
設置等組織名	工学部電子情報システム工学科
設置等組織の学位分野	工学関係
当該学部等の所在地	広島県広島市佐伯区三宅二丁目1番1号
入学定員	110 名
収容定員	440 名
入学定員の増加数	110 名
他学部等の入学定員の減少数	110 名

改組予定年度	令和7年度
認可申請・届出予定	令和6年度
※既に申請・届出している場合はその年度を記入	
改組内容	既存学部における学科の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）
設置等組織名	工学部電気エネルギーシステム工学科
設置等組織の学位分野	工学関係
当該学部等の所在地	広島県広島市佐伯区三宅二丁目1番1号
入学定員	110 名
収容定員	440 名
入学定員の増加数	110 名
他学部等の入学定員の減少数	110 名

改組予定年度	令和7年度
認可申請・届出予定	令和6年度
※既に申請・届出している場合はその年度を記入	
改組内容	既存学部における学科の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）
設置等組織名	工学部機械情報工学科
設置等組織の学位分野	工学関係
当該学部等の所在地	広島県広島市佐伯区三宅二丁目1番1号
入学定員	120 名
収容定員	480 名
入学定員の増加数	120 名
他学部等の入学定員の減少数	120 名

改組予定年度	令和7年度					
認可申請・届出予定	令和6年度	※既に申請・届出している場合はその年度を記入				
改組内容	既存学部における学科の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）					
設置等組織名	情報学部情報システム学科					
設置等組織の学位分野	工学関係	経済学関係				
当該学部等の所在地	広島県広島市佐伯区三宅二丁目1番1号					
入学定員	80名					
収容定員	320名					
入学定員の増加数	80名					
他学部等の入学定員の減少数	70名					

改組予定年度	令和7年度					
認可申請・届出予定	令和6年度	※既に申請・届出している場合はその年度を記入				
改組内容	既存学部における学科の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）					
設置等組織名	情報学部情報マネジメント学科					
設置等組織の学位分野	工学関係	経済学関係				
当該学部等の所在地	広島県広島市佐伯区三宅二丁目1番1号					
入学定員	80名					
収容定員	320名					
入学定員の増加数	80名					
他学部等の入学定員の減少数	70名					

改組予定年度	令和7年度					
認可申請・届出予定	令和6年度	※既に申請・届出している場合はその年度を記入				
改組内容	既存学部における学科の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）					
設置等組織名	環境学部地球環境システム学科					
設置等組織の学位分野	工学関係	理学関係				
当該学部等の所在地	広島県広島市佐伯区三宅二丁目1番1号					
入学定員	100名					
収容定員	400名					
入学定員の増加数	100名					
他学部等の入学定員の減少数	100名					

改組予定年度	令和7年度					
認可申請・届出予定	令和6年度	※既に申請・届出している場合はその年度を記入				
改組内容	既存学部における学科の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）					
設置等組織名	環境学部食健康科学科					
設置等組織の学位分野	工学関係	農学関係				
当該学部等の所在地	広島県広島市佐伯区三宅二丁目1番1号					
入学定員	90名					
収容定員	360名					
入学定員の増加数	90名					
他学部等の入学定員の減少数	90名					

< 基本情報 >

改組予定年度：令和7年度

改組内容：既存学部における学科の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）

・設置等組織名：工学部電子情報システム工学科

入学定員：【R7新設】110名

・設置等組織名：工学部電気エネルギーシステム工学科

入学定員：【R7新設】110名

・設置等組織名：工学部機械情報工学科

入学定員：【R7新設】120名

所在地：広島県広島市

・申請要件の内容

・中国四国地方において志願者の安定的確保を継続

・イベント型広報、訪問型広報や媒体型広報の実施

・新設学科設置に係る検討特別委員会における学修目標の具体化、教育カリキュラムの編成及び入学選抜の方針等についての議論の実施

・新設7学科による特定成長分野における理工系人材の育成の実施

・実務経験のある教員等による授業科目の時間数を2割以上配置

・外部講師（地元企業の技術者）による社会課題と結びついた学びの提供

・地元企業、団体、自治体との包括的連携協定による人材育成に関する連携体制の整備

・**旧来の工学系分野の専門技術者のみならず、その分野におけるデジタル化や分野を横断して思考できる未来を創造する理工系人材のニーズに対応するための学科の新設**

(1) **電子情報システム工学科**：半導体技術を基本とした電子デバイスや回路などの電子技術とその医用生体計測分野への応用に関する技術を持った人材の養成

(2) **電気エネルギーシステム工学科**：従来の電力システムに加えグリーンエネルギーを支える人材の養成

(3) **機械情報工学科**：Society5.0で実現する社会を支えるロボットやモビリティシステム、新素材に関する人材の養成

・本学と関係のある企業、包括的連携協定を締結している行政機関や企業との新設学科及びカリキュラム等に関する意見交換の実施

・本学と約100社の地元企業等で構成する広島工業大学地域連携技術研究協力会の加盟企業からの意見聴取の実施

・広島工業大学地域連携技術研究協力会を活用した学外との交流の更なる活性化による共同研究及び奨学寄附金の募集、また、民間企業等からの受託研究資金や共同研究資金の獲得の拡大

・専門性の高い技術系人材の育成及びデジタル技術等の先進技術を活用したさまざまな地域課題の解決を目的として締結した広島県との包括的連携協定の下、教育・文化の振興、地域防災や地域の安全・安心などの領域で広島県と連携

・大学連携コンソーシアム「教育ネットワーク中国」の加盟大学や放送大学等との単位互換制度の実施



・新設や改組の特徴・コンセプト

- ✓ 専門的なものづくり技術と先進的なデジタル技術を融合させた学びにより、産業界をリードする新しいものづくり人材の育成
- ✓ 成長分野をけん引し、分野横断型の思考ができる未来を創造する人材の育成

・改組後の教育内容

- ✓ それぞれの分野を横断した学びの機会を提供し、幅広い知識を身に付ける学び
- ✓ 既存の専門的な知識や技術を社会の諸課題の解決に応用する力を身に付ける学び
- ✓ アントレプレナーシップの醸成により、未来を創造する力を身に付ける学び
- ✓ グローバルマインドの醸成により、世界で競争できる力を身に付ける学び

■ 本取組の特筆すべき点 < その1 >

・地域産業界や行政機関などの学外有識者で構成する外部評価委員会による教育内容及び入学選抜の評価等によるPDCAの実施

P：学外有識者（地域の産業界や行政機関等）で構成する外部評価委員会との意見交換の実施及び社会や企業等からのニーズの調査

D：ニーズに基づく教育・入学選抜の実施

C：内部質保証推進委員会が外部評価委員会と連携し、養成人材の社会ニーズに基づく教育内容・入学選抜となっているかを評価・検証

A：検証結果の教育内容等へのフィードバック

■ 本取組の特筆すべき点 < その2 >

・小学生から高校生までを対象として初等中等教育段階との連携を幅広く実施

・シンポジウム開催による高校生、保護者や地域社会への成長分野の理解促進

・多様な入学者の確保に向けた社会人、大学・高等専門学校、海外帰国生等の特別選抜、編入学試験や学士入試、外国人留学生入試として一般入学、編入学、学士入学の実施

・各種団体や同窓会等による奨学金制度や支援制度、入試特待生制度、遠隔地学生給付奨学金、私費外国人留学生に対する学費減免等、学生に対する経済的な多彩な支援の実施

・チューター制度やオフィスアワーの導入、各学科に配置した学生支援アドバイザーによる学生指導によるきめ細やかな入学後の学習支援の実施

・初年次教育をサポートする教育学習支援センターや学生相談室、また、キャンパス・ハラスメント相談制度、障がい学生支援体制などの設置による充実した支援体制の整備

< 基本情報 >

改組予定年度：令和7年度

改組内容：既存学部における学科の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）

- ・設置等組織名：情報学部情報システム学科
入学定員：【R7新設】80名
- ・設置等組織名：情報学部情報マネジメント学科
入学定員：【R7新設】80名

所在地：広島県広島市

情報工学科

IoT
情報通信ネットワーク
ソフトウェア設計

情報システム学科

アプリケーション
ソーシャルメディア
ウェブシステム

情報学部

デジタル人材の育成

情報マネジメント学科

経営情報
データサイエンス
AI(人工知能)

・新設や改組の特徴・コンセプト

- ✓ 高度なデジタル技術に加え、データ思考やシステム化技術の学びにより、社会に変革をもたらすデジタル人材の育成
- ✓ 成長分野をけん引し、分野横断型の思考ができる未来を創造する人材の育成

・改組後の教育内容

- ✓ それぞれの分野を横断した学びの機会を提供し、幅広い知識を身に付ける学び
- ✓ 既存の専門的な知識や技術を社会の諸課題の解決に応用する力を身に付ける学び
- ✓アントレプレナーシップの醸成により、未来を創造する力を身に付ける学び
- ✓ グローバルマインドの醸成により、世界で競争できる力を身に付ける学び

・申請要件の内容

- ・中国四国地方において志願者の安定的確保を継続
- ・イベント型広報、訪問型広報や媒体型広報の実施
- ・新設学科設置に係る検討特別委員会における学修目標の具体化、教育カリキュラムの編成及び入学者選抜の方針等についての議論の実施
- ・新設7学科による特定成長分野における理工系人材の育成の実施
- ・実務経験のある教員等による授業科目の時間数を2割以上配置
- ・外部講師（地元企業の技術者）による社会課題と結びついた学びの提供
- ・地元企業、団体、自治体との包括的連携協定による人材育成に関する連携体制の整備
- ・**旧来の工学系分野の専門技術者のみならず、その分野におけるデジタル化や分野を横断して思考できる未来を創造する理工系人材のニーズに対応するための学科の新設**
- (1) **情報システム学科：現代社会の情報インフラである情報システムを支える人材の養成**
- (2) **情報マネジメント学科：データサイエンスを学び、それらを社会へ応用する人材の養成**
- ・本学と関係のある企業、包括的連携協定を締結している行政機関や企業との新設学科及びカリキュラム等に関する意見交換の実施
- ・本学と約100社の地元企業等で構成する広島工業大学地域連携技術研究協力会の加盟企業からの意見聴取の実施
- ・広島工業大学地域連携技術研究協力会を活用した学外との交流の更なる活性化による共同研究及び奨学寄附金の募集、また、民間企業等からの受託研究資金や共同研究資金の獲得の拡大
- ・専門性の高い技術系人材の育成及びデジタル技術等の先進技術を活用したさまざまな地域課題の解決を目的として締結した広島県との包括的連携協定の下、教育・文化の振興、地域防災や地域の安全・安心などの領域で広島県と連携
- ・大学連携コンソーシアム「教育ネットワーク中国」の加盟大学や放送大学等との単位互換制度の実施
- ・多様な入学者の確保に向けた社会人、大学・高等専門学校、海外帰国生等の特別選抜、編入学試験や学士入試、外国人留学生入試として一般入学、編入学、学士入学の実施

✓ 本取組の特筆すべき点<その1>

- ・地域産業界や行政機関などの学外有識者で構成する外部評価委員会による教育内容及び入学者選抜の評価等によるPDCAの実施
P：学外有識者（地域の産業界や行政機関等）で構成する外部評価委員会との意見交換の実施及び社会や企業等からのニーズの調査
D：ニーズに基づく教育・入学者選抜の実施
C：内部質保証推進委員会が外部評価委員会と連携し、養成人材の社会ニーズに基づく教育内容・入学者選抜となっているかを評価・検証
A：検証結果の教育内容等へのフィードバック

✓ 本取組の特筆すべき点<その2>

- ・小学生から高校生までを対象として初等中等教育段階との連携を幅広く実施
- ・シンポジウム開催による高校生、保護者や地域社会への成長分野の理解促進

- ・各種団体や同窓会等による奨学金制度や支援制度、入試特待生制度、遠隔地学生給付奨学金、私費外国人留学生に対する学費減免等、学生に対する経済的な多彩な支援の実施
- ・チューター制度やオフィスアワーの導入、各学科に配置した学生支援アドバイザーによる学生指導によるきめ細やかな入学後の学習支援の実施
- ・初年次教育をサポートする教育学習支援センターや学生相談室、また、キャンパス・ハラスメント相談制度、障がい学生支援体制などの設置による充実した支援体制の整備

<基本情報>

改組予定年度：令和7年度

改組内容：既存学部における学科の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）

・設置等組織名：環境学部地球環境システム学科

入学定員：【R7新設】100名

・設置等組織名：環境学部食健康科学科

入学定員：【R7新設】90名

所在地：広島県広島市

建築デザイン学科

デジタル建築デザイン
木工建築デザイン
空間デザイン

地球環境
システム学科

地球科学
宇宙衛星システム
環境共生

環境学部

グリーン人材の育成

食健康科学科

フードテック
バイオ
スポーツ健康科学

・新設や改組の特徴・コンセプト

- ✓ デジタル技術を活用することで、豊かな生活を追求するための技術や知識の学びにより、これからの持続可能な社会を創造するグリーン人材の育成
- ✓ 成長分野をけん引し、分野横断型の思考ができる未来を創造する人材の育成

・改組後の教育内容

- ✓ それぞれの分野を横断した学びの機会を提供し、幅広い知識を身に付ける学び
- ✓ 既存の専門的な知識や技術を社会の諸課題の解決に応用する力を身に付ける学び
- ✓ アントレプレナーシップの醸成により、未来を創造する力を身に付ける学び
- ✓ グローバルマインドの醸成により、世界で競争できる力を身に付ける学び

・申請要件の内容

- ・中国四国地方において志願者の安定的確保を継続
- ・イベント型広報、訪問型広報や媒体型広報の実施
- ・新設学科設置に係る検討特別委員会における学修目標の具体化、教育カリキュラムの編成及び入学者選抜の方針等についての議論の実施
- ・新設7学科による特定成長分野における理工系人材の育成の実施
- ・実務経験のある教員等による授業科目の時間数を2割以上配置
- ・外部講師（地元企業の技術者）による社会課題と結びついた学びの提供
- ・地元企業、団体、自治体との包括的連携協定による人材育成に関する連携体制の整備
- ・旧来の工学系分野の専門技術者のみならず、その分野におけるデジタル化や分野を横断して思考できる未来を創造する理工系人材のニーズに対応するための学科の新設
- (1) 地球環境システム学科：地球及び宇宙から得られる情報を利活用し、地球環境を維持する人材の養成
- (2) 食健康科学科：食や健康に関する諸課題の解決に取り組む人材の養成
- ・本学と関係のある企業、包括的連携協定を締結している行政機関や企業との新設学科及びカリキュラム等に関しての意見交換の実施
- ・本学と約100社の地元企業等で構成する広島工業大学地域連携技術研究協力会の加盟企業からの意見聴取の実施
- ・広島工業大学地域連携技術研究協力会を活用した学外との交流の更なる活性化による共同研究及び奨学金寄附金の募集、また、民間企業等からの受託研究資金や共同研究資金の獲得の拡大
- ・専門性の高い技術系人材の育成及びデジタル技術等の先進技術を活用したさまざまな地域課題の解決を目的として締結した広島県との包括的連携協定の下、教育・文化の振興、地域防災や地域の安全・安心などの領域で広島県と連携
- ・大学連携コンソーシアム「教育ネットワーク中国」の加盟大学や放送大学等との単位互換制度の実施
- ・多様な入学者の確保に向けた社会人、大学・高等専門学校、海外帰国生等の特別選抜、編入学試験や学士入試、外国人留学生入試として一般入学、編入学、学士入学の実施

✓ 本取組の特筆すべき点<その1>

- ・地域産業界や行政機関などの学外有識者で構成する外部評価委員会による教育内容及び入学者選抜の評価等によるPDCAの実施
- P：学外有識者（地域の産業界や行政機関等）で構成する外部評価委員会との意見交換の実施及び社会や企業等からのニーズの調査
- D：ニーズに基づく教育・入学者選抜の実施
- G：内部質保証推進委員会が外部評価委員会と連携し、養成人材の社会ニーズに基づく教育内容・入学者選抜となっているかを評価・検証
- A：検証結果の教育内容等へのフィードバック

✓ 本取組の特筆すべき点<その2>

- ・小学生から高校生までを対象として初等中等教育段階との連携を幅広く実施
- ・シンポジウム開催による高校生、保護者や地域社会への成長分野の理解促進

- ・各種団体や同窓会等による奨学金制度や支援制度、入試特待生制度、遠隔地学生給付奨学金、私費外国人留学生に対する学費減免等、学生に対する経済的な多彩な支援の実施
- ・チューター制度やオフィスアワーの導入、各学科に配置した学生支援アドバイザーによる学生指導によるきめ細やかな入学後の学習支援の実施
- ・初年次教育をサポートする教育学習支援センターや学生相談室、また、キャンパス・ハラスメント相談制度、障がい学生支援体制などの設置による充実した支援体制の整備